

昨年6月に実施された、広島県「基礎・基本」定着状況調査において、町内の小・中学校が県内でもトップクラスの成績を収めました。過去3年間、熊野町の成績は、すべての教科で広島県を上回っていました。今年度も広島県を大きく上回る大変素晴らしい成績を残しました。

【広島県「基礎・基本」定着状況調査の目的】

- (1) 学習指導要領に示されている目標および内容に基づき、基礎的・基本的な知識・技能の定着状況とともに、思考力、表現力などの学力の状況を把握する。
- (2) 児童生徒の生活や学習に関する意識や実態および各学校における教科指導などの実態を把握する。
- (3) 各学校が全県的な結果と比較・分析することを通して、自校の課題を明確にするとともに、指導内容や指導方法の改善・充実を図る。
- (4) 児童生徒の学力および学習の状況を明らかにし、県の教育行政施策に生かす。

【全国学力・学習状況調査の目的】

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てる。
- (3) そのような取り組みを通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

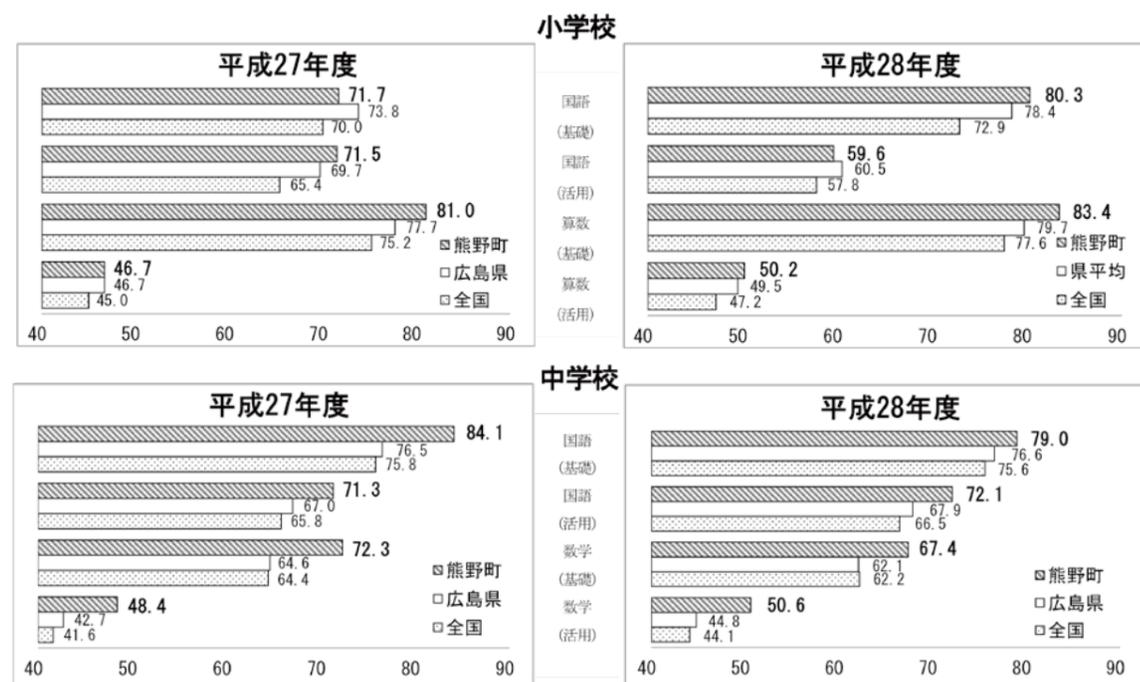


また、今年度4月に実施された「平成28年度全国学力・学習状況調査」においても、小・中学校が、ほぼすべての教科で全国を大きく上回る好成績を残しました。

これら2つの調査結果は、「熊野町教育大綱」において掲げる「『ひと』を育む」施策のうち、これまでの「基礎学力の向上」への取り組みの成果です。こうした素晴らしい結果は、児童生徒の頑張りはもとより、家族の皆様のご支援と教職員の努力のたまものですが、今後もこの結果に満足することなく、児童生徒の学力向上に積極的に取り組むとともに、すべての「『ひと』を育む」教育についても、力を入れた施策を推進していきます。(学校教育課)

全国学力・学習状況調査 (平成27年度・平成28年度比較)

この学力調査は、小学校6年生と中学校3年生を対象として毎年実施されるものです。また、今年度は理科が実施されておらず、小、中学校ともに2教科(国語、算数《数学》)について、その学力や学習状況について調査が行われました。

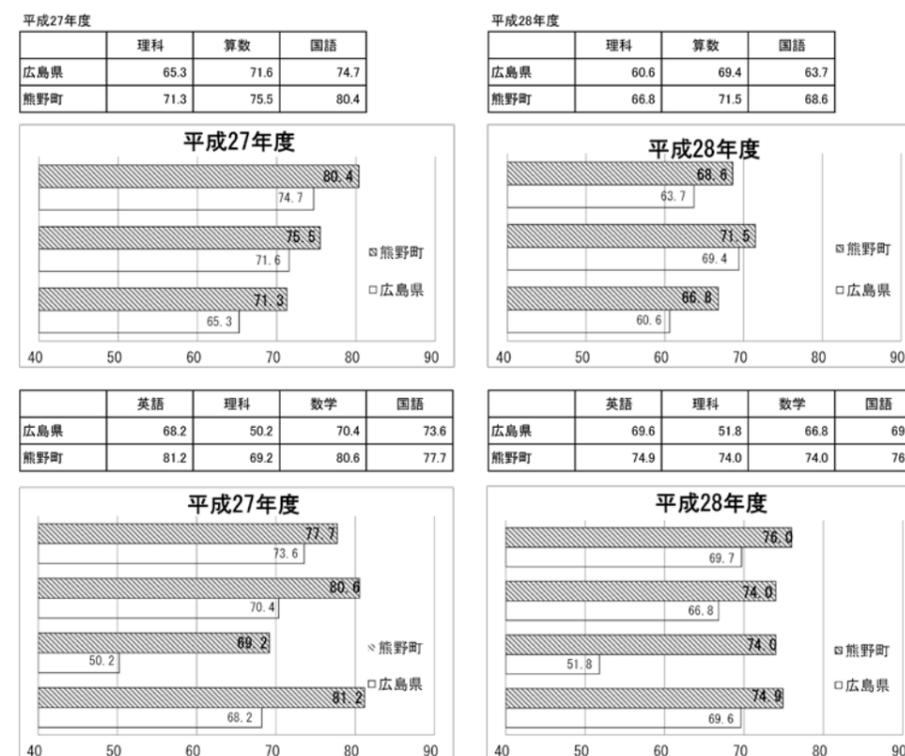


【分析】

平成27・28年度ともに、熊野町の小・中学校は全国を大きく上回り、児童生徒が高い学力を身につけていることが分かります。

広島県「基礎・基本」定着状況調査 (平成27年度・平成28年度比較)

この学力調査は、小学校5年生と中学校2年生を対象として毎年実施されるものです。また、小学校は3教科(国語、算数、理科)、中学校は4教科(国語、数学、理科、英語)について、その学力や学習状況について調査が行われました。



【分析】

平成27・28年度ともに、熊野町の小・中学校はすべての教科において広島県を大きく上回っています。小学校で「基礎・基本」をしっかり身につけ、中学校でさらにその力を伸ばしていることが分かります。

みんなでもがんばっているりん♪

